



令和3年2月25日発行 中等新報第90号  
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

## NIE実践研究② ～ 身近な題材で思考する ～

※ NIE(Newspaper in Education=「エヌ・アイ・イー」)とは、学校などで新聞を教材として活用することです。

前号に続いて、NIE実践研究における各教科の研究授業の概要について紹介します。

3年1組 社会

実施日：令和2年12月16日（水）3限  
単元名：21世紀と日本の役割



同一の話題についての2社の「社説」を読み比べ、それぞれ何が強調されているのか、比較検討しました。報道姿勢の違いにより、同じ出来事が異なるニュアンスで伝えられるということを確認し、そこから情報に接する際の心構えについて考えます。スライドやプリントを使って、2社の記事の差異について解説する奥山教諭の話に多くの生徒が興味を示していました。氾濫する情報の中から、自分にとって必要なもの、適切なものを選択するには、メディアリテラシー（テレビ番組や新聞記事などメディアからのメッセージを主体的・批判的に読み解く能力）が必要です。今後も、さまざまな社会事象を題材にして、批判的な読解力を養ってほしいと思いました。

実施日：令和2年12月17日（木）4限  
単元名：持続可能な社会を目指して

3年1組 理科

持続可能な社会を目指す身近な取組について新聞記事から情報を収集します。具体的には、**SDGs**の目標14「海の豊かさを守ろう」に焦点を当て、現在行われている各種取組に関する情報を整理し、その上で自分たちにもできる取組についてグループで話し合い、その結果をポスターにまとめました。

自分たちで考えた取組の具体的方法や実践する理由などを見やすくまとめる作業をとおして、一人一人の考えが深まっていきます。各グループの代表が説明を終えると、クラス全体から質問が出されます。授業担当の藤原教諭がねらったとおり、活発なポスターセッションになりました。

